

金ケ崎高校



地震体験・防災講演会

県立金ケ崎高校による「起震車による地震体験と防災講演会」が7月13日、同校で開かれました。地震を体験した荻原忠輔くん(2年)は「想像の10倍こわかった。実際に被害にあった人は大変だと思った。地震が起きたら机の下に隠れたり、落ちてくる物に気を付けたい」と話していました。

三ヶ尻地区自治会連合会



防災研修会

三ヶ尻地区自治会連合会による「防災研修会」が7月31日、三ヶ尻地区生涯教育センターで開かれました。町生活環境課や奥州金ケ崎行政事務組合消防本部金ケ崎分署の署員を講師に招き、避難情報や災害時取るべき行動のほか、起震車による地震体験、胸骨圧迫法やAEDの指導などを受け、災害時取るべき行動について考えました。

金ケ崎町自治会長連絡協議会



地域づくりフォーラム in かねがさき

町自治会長連絡協議会による「地域づくりフォーラム in かねがさき」が7月23日、中央生涯教育センターで開かれました。町の事例報告や岩手大学人文社会科学部の船戸義和客員準教授による講演が行われ、高齢化が進むなかでの地域の支え合いや地域主催の防災訓練の重要性などを学びました。

まちの話題 plus

防災を考える

7月から8月にかけて、町主催による自主防災組織研修会が行われたほか、金ケ崎高校や地区生涯教育センター、自治会長連絡協議会による防災をテーマにした講習会などが開かれました。

南方地区生涯教育センター



わくわく少年クラブ

南方地区生涯教育センターによる「わくわく少年クラブ」が7月28日、同センターで開かれました。南方地区の小学生が参加し、町生活環境課による防災学習や防災倉庫の見学、発電機の使用などを体験しました。松浦陽音くん(西小5年)は、「発電機は、子どもが使うには力が必要だと思った。今日学習したことを今後に生かしていきたい」と話していました。

街地区生涯教育センター



こども明興塾「防災あるある探検隊」

街地区生涯教育センターによるこども明興塾「防災あるある探検隊」が7月29日、同センターで開かれました。街地区の小学生が参加し、消火栓などを探すウォークラリーやポンプ車の放水体験、災害用ベッドの組み立てなどを体験しました。柴田恵汰くん(金小3年)は、「特にポンプ車の放水体験が楽しかった。家で火事が起きた時は、学んだことを生かして行動したい」と話していました。

人口と世帯		7月31日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,305人	(+ 4)	
男	7,848人	(+ 4)	
女	7,457人	(± 0)	
世帯数	6,265世帯	(+ 16)	



町公式 LINE
情報発信中

夏休み期間に入り、子どもたちを対象とした行事もいくつか取材させていただきました。皆さんは夏休みの思い出にはどのようなものがありますか。ラジオ体操、遊び、お祭り、花火、おじいちゃんおばあちゃん家、食べ物、虫、旅行、溜まりにたまった宿題...などいろいろあると思います。3年目となるコロナ禍での夏ですが、子どもたちには、いつまでも思い出に残るような楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。(村口)

広報日記

